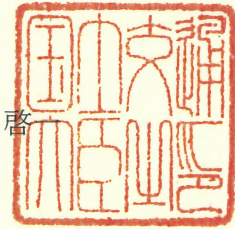


認定書

国住指第 1996 号
平成 28 年 10 月 21 日

J F E 建材株式会社
代表取締役社長 久保 亮二 様
早川ゴム株式会社
代表取締役社長 早川 雅則 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP030RF-1874
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂シート・フェノールフォーム板・木毛セメント板表張/
デッキプレート屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

塩化ビニル系樹脂シート・フェノールフォーム板・木毛セメント板表張/デッキプレート屋根

2. 寸法

屋根の母屋芯相互の間隔は2,400 mm以下とする。屋根の母屋方向の幅は、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

項 目	製 品 仕 様
① 主 構 成 材 料	<p>下地材 (デッキプレート)</p> <p>種類及び規格：デッキプレート(JIS G 3352 SDP2G) 鋼板の厚さ(mm)：1.2又は1.6 鋼板の種類：溶融亜鉛めっき鋼板(Z12以上) めっきの付着量(g/m²)：120以上 山高さ(mm)：75(±1.5)以上 働き幅(mm)：600(+8,-2) 支持方式：単純支持又は連続支持</p>
	<p>野地板</p> <p>種類及び規格：硬質木毛セメント板(JIS A 5404) 厚さ(mm)：25以上 密度(g/cm³)：1.0以上</p>
	<p>断熱材 (フェノールフォーム板)</p> <p>種類及び規格：下記(1)又は(2)のいずれか一仕様とする。 (1)フェノールフォーム保温板(JIS A 9511) (2)フェノールフォーム断熱材(JIS A 9521) 厚さ(mm)：50～100 使用方法：1層又は2層のものを野地板上部に敷き込む。 密度(基材)(kg/m³)：29(±3) 酸素指数(基材)：31(±3.1)以上 表面及び裏面仕上材：下記(1)又は(2)のうち、いずれか一仕様とする。 (1)塗装アルミニウムはく 厚さ(mm)：0.030(±0.003)～0.20(±0.02) 質量(g/m²)：81.9(±8.2)～542.6(±54.3) 有機質量(g/m²)：0.6(±0.3)以下 a.表面塗装：①～⑥のうち、いずれか一仕様とする。 ①エポキシ系樹脂 ②シリコン系樹脂 ③ポリエチレンテレフタレート系樹脂 ④ポリカーボネート系樹脂 ⑤ポリ塩化ビニル系樹脂 ⑥ポリ塩化ビニリデン系樹脂 質量(g/m²)：0.6(±0.3)以下 b.アルミニウムはく(JIS H 4160) 厚さ(mm)：0.030(±0.003)～0.20(±0.02) 質量(g/m²)：81.3(±8.13)～542.0(±54.2) (2)アルミニウムはく 厚さ(mm)：0.030(±0.003)～0.20(±0.02) 質量(g/m²)：81.3(±8.13)～542.0(±54.2) 接着剤 種類：エチレン系樹脂接着剤 質量(g/m²)：30(±3.0)以下 有機質量(g/m²)：30(±3.0)以下</p>

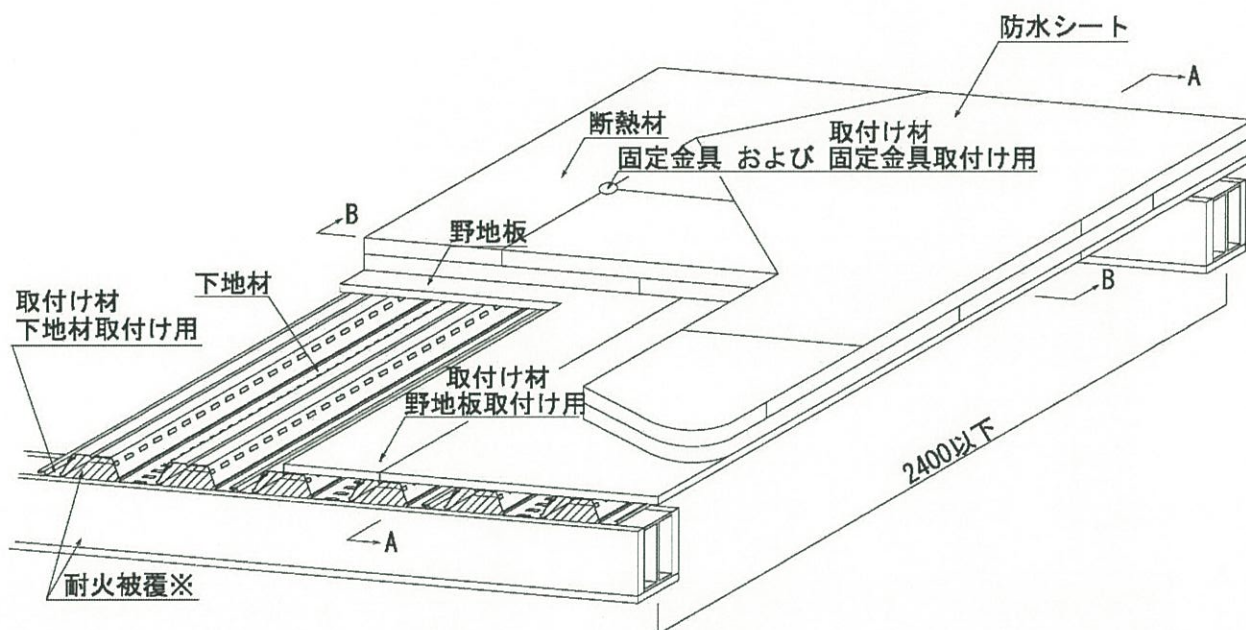
項	目	製 品 仕 様
① 主 構 成 材 料	防水シート	種類及び規格：塩化ビニル樹脂系シート(JIS A 6008) 厚さ(mm)：1.5(+0.225, -0.15)又は2.0(+0.3, -0.2) 質量(kg/m ²)：1.93(+0.289, -0.193)又は2.57(+0.386, -0.257) a. 表層：塩化ビニル樹脂系シート 厚さ(mm)：1.2(+0.18, -0.12)又は0.8(+0.12, -0.08) b. 中間：ポリエステル繊維クロス 質量(g/m ²)：14.0(±3.0) c. 裏層：塩化ビニル樹脂系シート 厚さ(mm)：0.8(+0.12, -0.08)又は0.7(+0.105, -0.07) シート相互の重ね幅(mm)：40～60
② 副 構 成 材 料	取付け材、固定金具、固定金具部防水シート及びシール材	下地材取付け用：下記(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)鋼製ドリルねじ 寸法(mm)：φ6以上×L19以上 留め付け仕様：下地材幅600mmに対して3本以上 (2)鋼製ドリリングタッピンねじ 寸法(mm)：φ6以上×L19以上 留め付け仕様：下地材幅600mmに対して3本以上 (3)焼抜き栓溶接 溶接径(mm)：18以上 溶接仕様：下地材幅600mmに対して3ヶ所以上 (4)打込みびょう 寸法(mm)：φ4.5以上 留め付け仕様：下地材幅幅600mmに対して3本以上 野地板取付け用：下記(1)又は(2)のいずれか一仕様とする。 (1)鋼製ドリルねじ 寸法(mm)：φ5以上×L40以上 留付け仕様：野地板短手方向910mm以下、長手方向1820mm以下、 かつ、野地板1枚につき4隅4箇所以上(端あき約50mm) (2)鋼製ドリリングタッピンねじ 寸法(mm)：φ5以上×L40以上 留付け仕様：野地板短手方向910mm以下、長手方向1820mm以下、 かつ、野地板1枚につき4隅4箇所以上(端あき約50mm) 固定金具：塩化ビニル樹脂被覆鋼板 厚さ(mm)：1.35±0.20 寸法(mm)：φ65±2 固定金具部防水シート 厚さ及び質量(mm)：防水シートの仕様に同じ。 径(mm)：φ160±2 固定金具取付け用 下記(1)又は(2)のいずれか一仕様とする。 (1)鋼製ドリリングタッピンねじ 寸法(mm)：φ7以上×L100～150以上 (2)鋼製ドリルねじ 寸法(mm)：φ7以上×L100～150以上 防水シート端部シール材 種類：塩化ビニル樹脂系液状シーリング材 塗布量(g/m)：10～15

4. 構造説明図

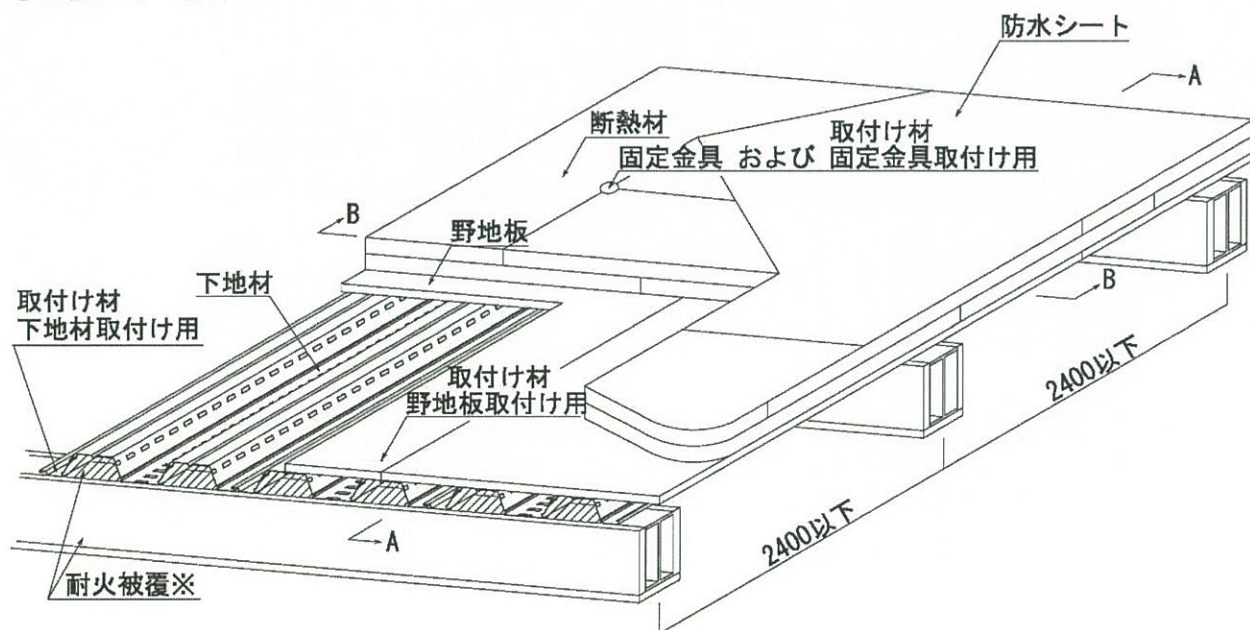
(単位：mm)

(1) 透視図

①単純支持の場合



②連続支持の場合

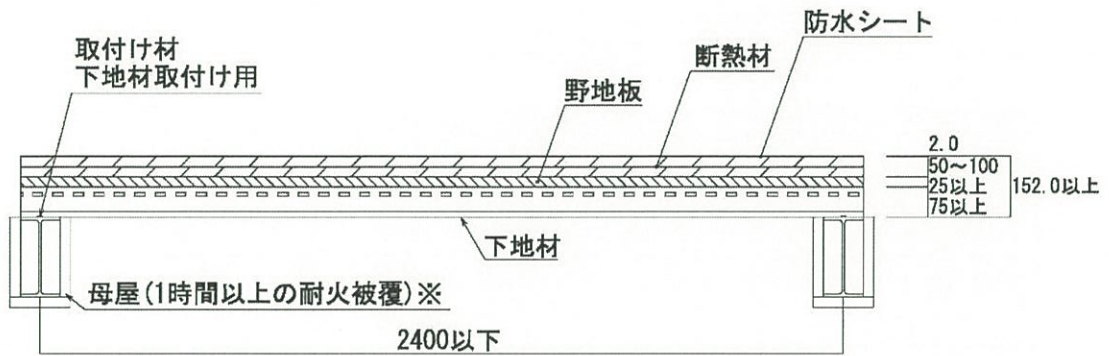


※は評価対象外

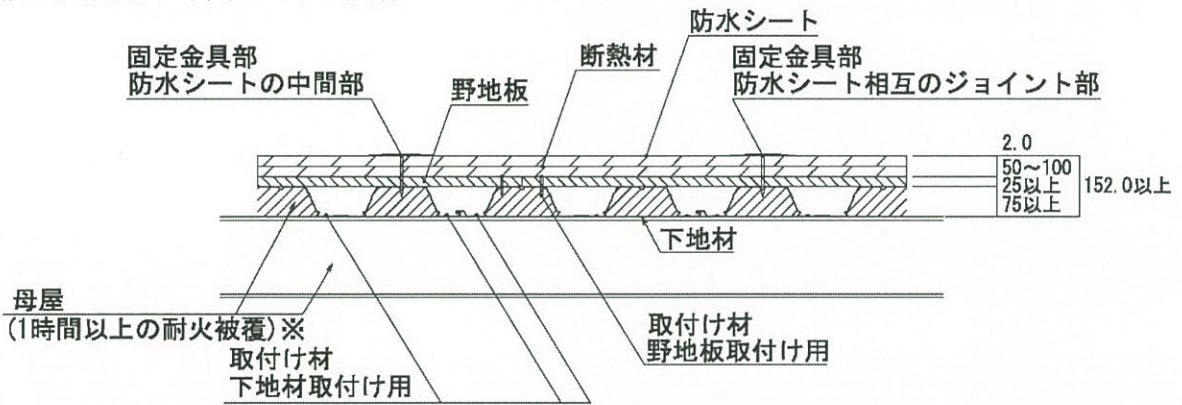
(2) 断面図

(単位: mm)

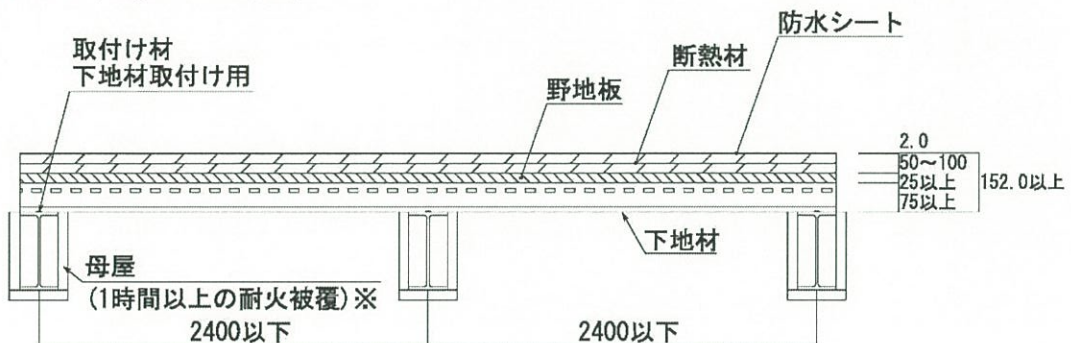
①長さ方向断面図 (単純支持の場合)



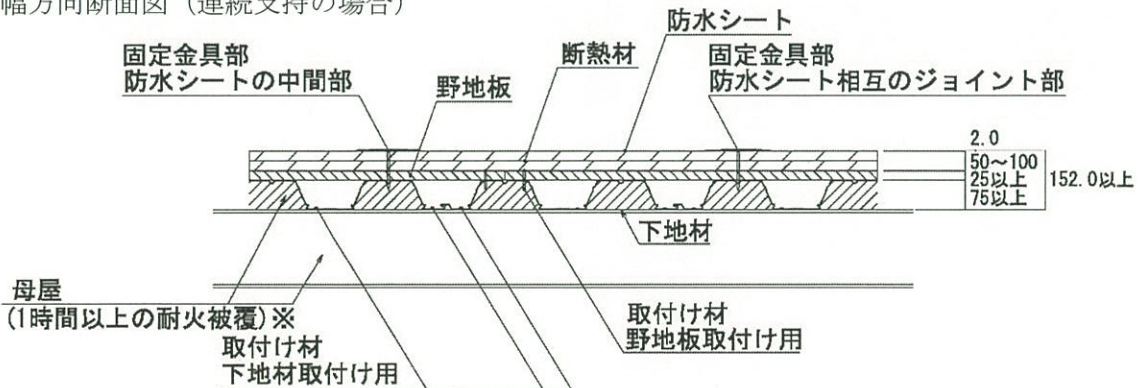
②幅方向断面図 (単純支持の場合)



③長さ方向断面図 (連続支持の場合)



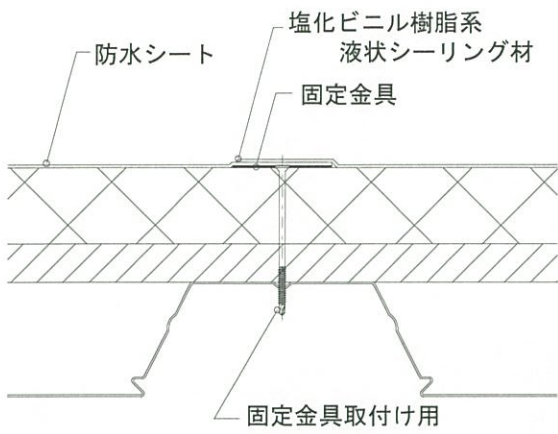
④幅方向断面図 (連続支持の場合)



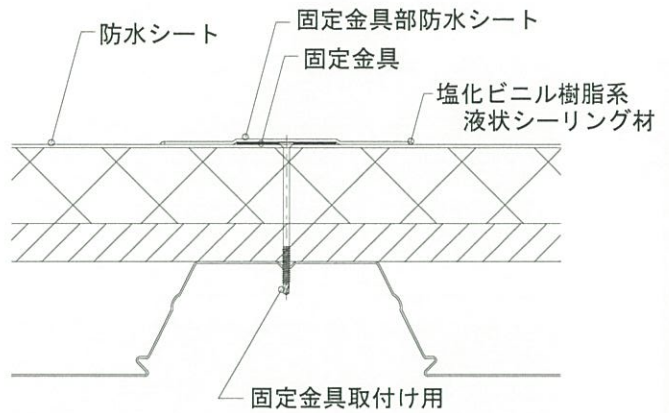
※は評価対象外

⑤ 固定金具部詳細図

・ 防水シート相互のジョイント部

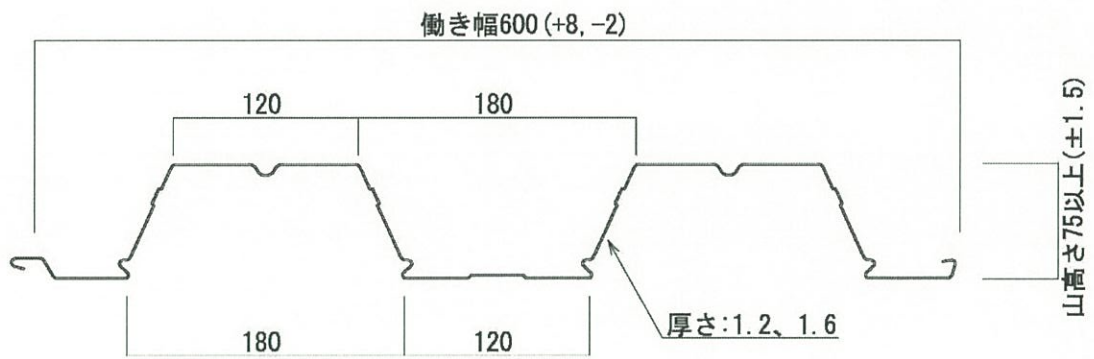


・ 防水シートの中間部



(3) デッキプレートの形状および寸法

(単位:mm)



5. 施工方法

- (1) 屋根を施工する母屋芯相互の間隔が 2,400mm 以下であることを確認する。デッキプレート下地を母屋に配置し、ドリルねじ、ドリリングタッピンねじ、焼抜き栓溶接又は打込みびょうを用いて緊結する。
- (2) デッキプレート下地の敷き込みが完了した後、野地板長手方向とデッキプレート下地溝方向が平行になるように、また野地板の長手方向目地が必ずデッキプレート下地の山上にくるよう隙間なく敷き込み、ドリルねじ又はドリリングタッピンねじを用いてデッキプレート下地に留め付ける。なお野地板同士は突き合わせとする。
- (3) 断熱材を野地板と目地部が重ならないよう突き合わせて敷き込む。
(断熱材：旭化成建材株式会社製)
- (4) 固定金具(円盤状)を防水シート相互のジョイント位置にドリリングタッピンねじ又はドリルねじで留め付ける。
- (5) 防水シート端部を固定金具(円盤状)に溶融着し、次の防水シートを重ね合わせて防水シート相互を溶融着する(シート相互の重ね幅：40～60mm)。
- (6) 防水シートの上部より固定金具(円盤状)をドリリングタッピンねじ又はドリルねじで留付ける。
- (7) 固定金具(円盤状)を覆うように固定金具部防水シートを溶融着する。
- (8) 防水シート相互の重ね合せ部小口に液状シール材を塗布する。
- (9) 固定金具(円盤状)の留め付ける間隔は長手方向、幅方向共 600mm(±10mm)以下とする。
- (10) 必要に応じて、母屋に1時間の耐火被覆を施す。ただし、平成12年建設省告示第1399号第4第三号ニの規定に該当する場合には、上記の耐火被覆は必要としない。